

めざす方向

「おもてなし」の心と絆の力で人と地域と世界がつながる
交流社会の実現

1. 町内・県内・国内交流の促進
2. 国際交流の推進

1 町内・県内・国内交流の促進

現況と課題

町内・県内・国内交流の現況

上北、下北地域の核として、本町の魅力を広く発信し、教育・文化、スポーツ、産業等の多様な分野において、町内から大都市圏や全国の地方都市との交流活動を積極的に進めることが求められています。

このため、観光はもとより、各種イベントを通じて七戸町はじめ上北、下北地域を訪れた人々との継続的な交流や、インターネット等を通じた幅広い交流等、ソフト・ハード両面にわたる連携・交流の推進を図る必要があります。

子ども達の交流活動では、小学生対象の南部藩ゆかりの地子どもサミットへの派遣、小学生、中学生対象の異文化交流活動を行っています。さらに交流活動を広げるためには、本町のもつ豊かな自然環境や文化資源等を広く理解するための多彩なメニューの開発等ソフト面の充実を図る必要があります。

施策の体系

- 国内の地域との連携・交流活動の促進
- 連携・交流の核づくり

(1) 国内の地域との連携・交流活動の促進

- ①町内の優れた技能を持つ「町の匠」等と子ども達との世代間交流を推進します。
- ②利活用向上のため、町内の公共施設のネットワーク化を推進します。
- ③上北、下北地域等県内で開催される各種イベント参加を通じて、連携・交流活動の活性化を促進します。
- ④県外の各団体との連携・交流活動を促進します。

(2) 連携・交流の核づくり

- ①国内連携・交流の人的ネットワークづくりの核となる、ふるさと町民制度の創設を検討します。
- ②上北、下北地域の核として交流を促進していくため、宿泊機能の充実や広域案内機能を備えた滞在型施設の整備を推進します。
- ③上北、下北地域の特産品生産・販売の活性化と拠点化を目指して、ふるさと便等各種施策の充実を図ります。

2 国際交流の推進

現況と課題

国際交流の現況

近年あらゆる分野においてグローバル化が進んでいます。それに伴い交流における「国際化」が急進展しており、首都圏のみならず地方においても国際化対応が急務となってきました。

本県における外国人観光客が増加している中、本町においても海外からの観光客が大幅に増えることが予想されます。このようなことから、異文化を理解し、相互に交流することにより、グローバル社会に対応できる人材を早急に育てる必要があります。

このため、関係団体と連携しながら、通訳ガイド、ホームステイ、民間による外国語学習機会の支援等、日頃から外国人を受け入れるための活動を進めることが大切です。また、本町近くには三沢基地もあります。児童生徒の基地訪問や海外派遣等の国際交流活動を活発化することが求められます。

施策の体系

異文化への理解を進める国際交流の推進

(1) 異文化への理解を進める国際交流の推進

- ①異文化への関心や理解を高め、外国人とのコミュニケーション能力を養う国際理解教育を推進します。
- ②外国人との相互理解を深めるため、身近に触れ合い、交流ができる機会を拡大するとともに、民間団体が自主的に行う国際交流事業を支援します。
- ③これまでの交流事業の経験と蓄積を活かして、青少年海外派遣事業を推進します。
- ④認定こども園、保育園で英語に親しむ機会や、社会人向け英会話教室等、生涯にわたる外国語学習環境の整備を推進します。